

会議等名	平成 29 年度第 2 回海老名市学校施設再整備計画策定検討委員会
日 時	平成 29 年 7 月 6 日（木） 午後 2 時から 4 時 30 分
場 所	海老名市役所 7 階 701 会議室
出席者	委 員： 葉養委員長、城向委員長職務代理、 佐藤委員、加藤委員、萩原委員、三木委員、梅崎委員 （上田委員欠席） 事務局： 海老名市教育委員会 伊藤教育長 岡田教育部長、金指教育部次長、吉川教育総務課長、 加賀施設係長、工藤主事 傍聴者： なし
概 要 1 開 会 2 あいさつ 伊藤教育長及び委員長よりあいさつ 3 議 事 ※議題に先立ち、教育委員会から検討委員会へ諮問書の手交を実施。 また、検討委員会の傍聴について、「審議会等に関する傍聴要領」により行う旨確認。 議題 （1）前回の検討内容について 〔資料 1〕に基づき事務局より説明 《質疑・意見等》 （委員）〔資料 1〕 4 ページの中で、学校施設は 20 施設となっているが、19 施設ではないのか。 ➤（事務局）学校は 19 施設だが、学校給食施設（食の創造館）も含まれている。 （2）学校施設再整備計画策定進捗状況について ①学校施設及びその他の公共施設の状況について ②人口シミュレーション（児童・生徒数・学級数） ③劣化状況調査 〔資料 2-1 及び 2-2〕に基づき事務局より説明 《質疑・意見等》 （委員）〔資料 2-1〕 4・5 ページを見ると、海老名市はバランスよく学校等が配置されている。 ➤（事務局）分校から本校になった学校もある。地域人口によって設置されたものだと思うるので、このような配置になったと考える。 （委員）〔資料 2-1〕 4 ページ以降、「6 地域」に分割されているが、どのような基準な	

のか。

➤（事務局）公共施設白書で使われている区分けとなっている。

（委員）自治会（連合会）単位で分かれているのか。

➤自治会は59自治会であり、連合会も細かい単位である。

（委員）区分けが学区であるのか自治会単位なのか決めておいた方がよい。

学校は地域住民にとってかけがえのない施設であるため、地域コミュニティがどのような範囲で形成されているかが重要である。

データが整理出来たら次回以降示してほしい。

（委員）公共施設再編計画のときにも、同じ地区でも2分されているところもあると聞いたことがある。歴史や学校区というのが重要になってくると思う。

（委員）東京などでは氏子によってコミュニティが変わってくるようだが、海老名ではどうか。

➤（事務局）大きい神社はいくつかあり氏子もいるが、直接的に関連はないと思われる。

（委員）「地域の名前」ではなく、「地域住民の暮らし」の単位で考えてほしい。

（委員）〔資料2-1〕7ページで大谷地域が大幅に減少すると推計されているが理由は判明しているか。

➤（事務局）国分寺台地区は一度期に開発が進み、現在高齢化率が一番高い地区になっている。世代交代が進めばある程度抑えられるかもしれないが、推計としては、少子高齢化となっている地域である。

（委員）浜田町地区は1戸を2戸にするなどできない地域なので、人口が増えず、高齢化しているようだ。

（委員）海老名駅前や周辺では2,000戸くらい増えると思われるが、海西・国分地域の推計はもっと増えても良いのではないか。

（委員）市内小学校から海老名市外（私立など）の中学校に行く児童はどのくらいいるのか。

➤（事務局）中学生3,000人中100人くらいであったと考える。

詳細な数字は次回お示しさせていただく。

（委員）海老名はよい地域にあると思う。海からも離れているので津波等の影響はないと思うが、地盤はどうか。

➤（事務局）相模川よりの地域は軟弱地盤だが、土手上の東部ではかなり強固である。

（委員）〔資料2-2〕2・3ページの工事履歴を見ると、冷暖房やウォシュレット設置がされているとのことだが、県内でも進んでいる方なのか。

➤（事務局）進んでいるようである。恐らく体育館のウォシュレット設置は初めてではないかと思う。

「きれいで居心地のよい学校づくり」事業として市長も子どもたちの環境を整備したいと考えていたため実施できた。

（委員）学校の建築ではいくらぐらいかかるものか。補助金の活用はあるか。

➤（事務局）直近で建築された東柏ヶ谷小学校の南棟では建物のみで 15 億円くらいであつたと思う。このうち 3 分の 1 が文部科学省の補助金を活用した。

改修金額は、建て直しや既に工事完了している部分を除いた改修工事であつてくるため、今後この資料を基に精査し、お示ししていきたいと思っている。

（委員）建築年数は古いが歴史的建造物や地元の方に愛着が根付いているような建物はな
いのか。

➤（事務局）いわゆる「歴史的建造物」になりえるような学校は市内にはない。

（委員）トイレは全て洋式化となっているのか。

➤（事務局）洋式化しているが、おおよそ各階にあえて和式を残している。

（委員）今はしゃがむことができない子どもも多くいるようだ。

（委員）洋式になってからアキレス腱が弱くなっている人も増えているらしい。

（３）新たな学校施設の姿について

①小中一貫教育

②コミュニティスクール

③インクルーシブ教育

④『夢のある学校づくりアンケート』（児童・生徒向け）結果

⑤複合化・多機能化について

〔資料 3－1 から 3－5〕に基づき事務局より説明

《質疑・意見等》

（委員）①小中一貫教育について、施設分離型の小中一貫校のイメージがつかない。小学生と中学生がふれあう頻度はどのくらいであるか。

➤（事務局）今回用意はしていないが、有馬中学校での実践内容や課題などを整理したものがあつたので、次回以降お示ししたい。具体的には、中学の教諭が小学校へ行き、図工や理科などの授業を行ったりしている。また、中学生が小学校へ出向き「あいさつ運動」を行っている。また、「えびなっ子スクール」を夏休みに行っているが、中学生が小学生に指導などを行っている。

（委員）始まったばかりなので手探りであるが、出来る範囲で児童と生徒・先生同士のつながりをもっていきたい。移動時間もかなりかかっている。

（委員）ある地域では、近い小学校と中学校が遠い小学校に気がつかず、近い小学校とのふれあいが少なくなってしまうとの話を聞いたがどうか。

（委員）海老名では近くても遠くても同じ頻度で行っていると聞いている。

（委員）「一貫」ではなく「連携」ということか。

（委員）今やっていることは「連携」に近いが、9 年間を見通した「一貫」に近づけるために同じ中学校区で同じ目標を持つこととした。

（委員）一貫教育は、教育委員会で整理をしているのか。

➤（事務局）教育大綱やえびなっ子しあわせプランなどで整理している。

(委員) 海老名ではないかもしれないが、学級数が少ない学校では小中一貫教育を行うと9年間「順位」が変わらないため、弊害があるようだ。

(委員)〔資料3-2〕「コミュニティスクール」を設置している学校は、学校評議員制度はどうしているか。

➤ (事務局) コミュニティスクールができた段階で学校評議員は廃止した。
併合はしないことにしている。

(委員)〔資料3-4〕3ページで、学校とコンビニや売店が一緒にあったらいいという回答が多かったようだが、海老名市内の小中学校に購買部のようなものはないのか。

➤ (事務局) ない。

(委員) 東柏ヶ谷小学校では新しく校舎が出来たときに自校式給食となりランチルームができた。このような施設ができたので、〔資料3-4〕1ページで、学校の印象が良いという意見が多かったのかと分析する。

(委員)〔資料3-4〕1ページで、学校の印象が「どちらかというと良くない」「良くない」の選択が多かった学校と、〔資料2-2〕の劣化状況評価が低い学校とほぼ一致している。雨漏りや水漏れなど水関係のトラブルは精神衛生上良くないとされているようだ。この検討委員会では中長期を見越したものではあるが、危機的状況にある施設については改めて早急に対応をお願いしたい。

4 その他

(1)「先進的な取組事例」として、学校施設と老人福祉施設を複合化した「宇治市立小倉小学校」と学校図書館を地域と共用化している「西川町立西川小学校」を紹介

《質疑・意見等》

(委員) 厚木市では学校の1階部分に公民館を設置しているようなところもある。
いろいろな施設と共用するという考えもよいと思う。

➤ (事務局) 現在、小学校区と同じくらいの範囲でコミュニティセンター等が設置されている。学校では体育館や特別教室・余裕教室の開放も行っている。
他機能との複合化も考えていきたいと思っている。

(2) 第3回検討委員会は、後日調整とする。

5 閉 会

以 上